



LAB #: labno
 PATIENT: patname
 ID: patid
 SEX: patsex
 AGE: patage

尿中ポルフィリン ; 尿検査

PORPHYRINS			PERCENTILE	
	測定結果 mg/gクレアチニン	基準範囲	95 th	99 th
ウロポルフィリン類	elem ur	rangeur	[Redacted]	
ヘプタカルボキシポルフィリン類	elem hp	rangehp	[Redacted]	
ヘキサカルボキシポルフィリン類	elem hx	rangehx	[Redacted]	
ペンタカルボキシポルフィリン類	elem pc	rangepc	[Redacted]	
コプロポルフィリンI	elem c1	rangec1	[Redacted]	
コプロポルフィリンIII	elem c3	rangec3	[Redacted]	
コプロポルフィリンI/コプロポルフィリンIII	elem 13	range13	[Redacted]	
総ポルフィリン類	elem tp	rangetp	[Redacted]	
プレコプロポルフィリンI	elem u1	rangeu1	[Redacted]	
プレコプロポルフィリンII	elem u2	rangeu2	[Redacted]	
プレコプロポルフィリンIII	elem u3	rangeu3	[Redacted]	
総プレコプロポルフィリン類	elem up	rangeup	[Redacted]	
プレコプロポルフィリン類/ウロポルフィリン類	elem uu	rangeuu	[Redacted]	

詳細情報

尿中のポルフィリン類は、ヘム生合成の酸化された中間代謝産物であり、ヘムを生産する疾患のバイオマーカーとして機能します。ポルフィリン検査結果の異常は、遺伝性疾患、栄養不良、酸化ストレス、そして毒性化学物質や毒性金属への高濃度暴露と関係しています。ウロポルフィリン類に対するプレコプロポルフィリン類の比は、ヘム生合成が少ない患者の異常が報告されます。アルコール、鎮静薬、鎮痛薬、抗生物質、エストロゲン類、そして経口避妊薬によって、尿中ポルフィリン類の濃度が変わることがあります。また、貧血、妊娠、そして肝疾患も、ポルフィリン代謝に影響を与えます。このUrine Porphyrins検査は、誘発試験の前後に行うurine toxic metalsと併用すると、最大の利点が発揮されるでしょう。

負荷物質に対するポルフィリン上昇のパターン

水銀 ベンタ↑コプロIII↑プレコプロ類↑プレコプロ類/ウロ類
ヒ素 ウロ類↑コプロI/コプロIII
鉛 コプロIII↑
ヘキサクロロベンゼン、ダイオキシン ウロ類↑
塩化メチル
ポリ塩化ビニル コプロ類↑
多臭素化ビフェニル

尿中クレアチニン濃度

	測定結果 mg/dL	基準範囲	-2SD	-1SD	MEAN	+1SD	+2SD
カルニチン	elem cc	rangecc	[Redacted]				

SPECIMEN DATA

コメント:

採取日: 2009年2月3日
 受付日: 2009年2月4日
 終了日: 2009年2月5日

Method: HPLC

<dl: less than detection

Collection Period: coll1type

Volume: sampvol

Woods, J et al. J. Toxicol. Env. Hlth. 40,235-46(1993)と Morita, Y et al. Porphyrins 14,93-7(2005)にある様に、プレコプロポルフィリン類は高濃度水銀暴露と関係した特殊なポルフィリンです。プレコプロポルフィリン類の値は、研究目的にのみ使用し、診断には用いないでください。